

安全データシート（SDS）

1. 製品及び会社情報

製品名	シュウ酸（食品添加物）
会社名	山善製薬株式会社
住所	大阪市中央区道修町 2 丁目 2 番 4 号
担当部門	業務部
電話番号	0 6 - 6 2 3 1 - 1 8 2 1
FAX 番号	0 6 - 6 2 3 1 - 1 8 2 4
緊急連絡電話番号	0 6 - 6 2 3 1 - 1 8 2 1

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

爆発物	分類対象外
可燃性/引火性ガス	分類対象外
可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
支燃性/酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過氧化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分 4
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵）	分類できない
急性毒性（吸入：ミスト）	分類対象外
皮膚腐食性/刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分外
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分 2（呼吸器）
特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分 1（腎臓）
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性）	区分 3
水生環境有害性（慢性）	区分外

GHS ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
飲み込むと有害（経口）
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器の障害のおそれ
長期にわたるまたは反復暴露による腎臓の障害
水生生物に有害

注意書き

使用前に安全データシート（SDS）に記載された全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。

[安全対策]

- ・この製品を使用する前に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・粉塵またはミストを吸入しないこと。
- ・取扱い後は手/顔をよく洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。

[応急措置]

- ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
- ・目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
- ・衣類にかかった場合：すべての汚染された衣類を脱ぎ取り除くこと。汚染された衣類を再使用する場合は洗濯をすること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。
- ・応急処置後は、直ちに医師の診断/手当を受けること。
- ・暴露またはその懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。

[保管]

- ・施錠して保管すること。

[廃棄]

- ・関連法規並びに地方自治体の基準に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	単一製品
化学名または一般名	シュウ酸二水和物
英語名	OXALIC ACID BIHYDRATE
別名	エタン二酸(Ethanedioic acid)・二水和物
化学特性（化学式等）	$C_2O_4H_2 \cdot 2H_2O$
CAS 番号	6153-56-6
濃度又は濃度範囲（含有量）	99.5%以上
官報公示整理番号	化審法：(2)-844 安衛法：公表
GHS 分類に寄与する不純物及び安定化添加物	情報なし
TSCA 登録	あり
EINECS 番号	205-634-3
DSL(NDSL) 登録	あり
AICS 登録	あり

4. 応急措置

飲み込んだ場合	水で口の中をすすぐこと。無理に吐かせない。気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、保温、安静に努め、呼吸しやすい姿勢で休

シュウ酸（食添）

皮膚に付着した場合	息させる。医師の診断/手当を受けること。 汚染された衣類や靴を全て脱ぎ、接触部を流水/シャワーで十分に洗浄し、医師の診断/手当を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗眼する。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。医師の診断/手当を受けること。
予想される急性症状 及び遅発性症状	飲み込んだ場合：嘔吐、火傷及び腹痛、衰弱及び痙攣。食道及び胃の著しい腐食性あり。急死に至る可能性あり。 吸入した場合：神経を侵す。胃痛、嘔吐、口腔及び喉の炎症を起こし、腎臓が侵される。鼻や喉の灼熱感、咳、息苦しさ、咽頭痛：遅れて現れる症状がある。 皮膚に触れた場合：発赤、皮膚熱傷、痛み、水疱。 眼に入った場合：粘膜を刺激して炎症を起こす。発赤、痛み、眼のかすみ、視力喪失、重度の熱傷。
5. 火災時の措置	
消化剤	水、粉末消化剤、二酸化炭素、乾燥砂等を用いる。
使ってはならない消化剤	特になし
特定の危険有害性	加熱すると、ギ酸、一酸化炭素、二酸化炭素を生じるおそれがある。
特定の消火方法	周辺火災の場合は、危険でなければ容器を安全な場所に移す。消火剤を散剤して消火する。
消火を行う者の保護	消火作業は、防塵防毒マスクや保護衣などの保護具を着用する。 安全な場所から消火を行う。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	漏洩区域は関係者以外の立入を禁止する。作業は必ず適切な保護具を着用する。密閉された場所は換気する。
環境に対する注意事項	環境中には放出しない。河川等に流出しないよう注意する。
封じ込め及び 浄化の方法・機材	漏洩物は掃き集めて容器に回収する。危険でなければ漏れを止める。 水分等は遠ざけるか不燃性物質で吸収させて漏洩物と接触させない。
二次災害の防止策	漏洩の原因を排除する。火気から遠ざける。水分を接触させない。 適切な防護衣を着けていないときは容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
7. 取り扱い及び保管上の注意	
取り扱い	
技術的対策	取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備等を設置する。
局所排気・全体換気	局所排気装置等の換気装置を設置し、作業環境に留意する。
安全取り扱い注意事項	使用前に安全データシート(SDS)を入手して記載された全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わない。この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。保護眼鏡、保護衣、保護手袋等を着用して取り扱う。接触、吸入、飲み込まないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。環境への放出を避ける。取扱いは換気の良い場所で行い、粉塵が飛散しないように注意する。
接触回避	水分、火気、強酸化物、銀化合物との接触
保管	
技術的対策	保管場所は施錠するための錠前を設ける。取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設定を設ける。
適切な保管条件	直射日光、高温、多湿を避け、換気の良い場所に保管する。
安全な容器包装材料	ポリエチレン
8. 暴露防止及び保護措置	
設備対策	取り扱い場所には局所排気装置等の換気装置を設置する。
管理濃度	設定されていない。
許容濃度	日産衛（'09年版）：設定されていない。
ACGIH（'09年版）：	TWA 1mg/m ³ 、STEL 2mg/m ³ （無水物として）

保護具

呼吸器用の保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具
適切な衛生対策

防塵マスク
ゴム製手袋
保護眼鏡（ゴーグル型）
作業衣、安全帽（ヘルメット）、安全靴、顔面用保護具。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後は、手洗い、洗顔を十分に行う。

9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状態、形状、色）	無色の結晶もしくは白色の粉末
臭い（及び臭いの閾値）	無臭
pH	知見なし
融点/凝固点	101℃（分解）（2水和物）
沸点、初留点と沸騰範囲	知見なし
引火点	知見なし
自然発火温度（発火点）	知見なし
燃焼性（固体、ガス）	知見なし
燃焼又は爆発範囲の上限/下限	知見なし
蒸気圧	知見なし
蒸気密度	知見なし
比重（相対密度）	1.65（18.5℃/4℃）
溶解性	13g/100mL 水（20℃）
オクタノール/水分配係数	log Pow =-0.8
分解温度	189.5℃
粘度（粘性率）	知見なし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の状態では安定である。 180～190℃で分解、ギ酸、一酸化炭素、二酸化炭素ガスを発生する。
危険有害反応性	水溶液は中程度の強酸であり、強塩基と激しく反応する。酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。銀と反応し、爆発物質を生成する。金属腐食性がある。
避けるべき条件	加熱、水分。
混触危険物質	強酸化剤、ある種の銀化合物。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素、ギ酸。

11. 有害性情報

急性毒性 経口ラット LD ₅₀ :	375mg/kg（無水物）
皮膚腐食性/刺激性	皮膚に対して腐食性を示す。
眼に対する重篤な損傷 ／眼刺激性	眼に対して腐食性を示す。
呼吸器感作性/皮膚感作性	知見なし
生殖細胞変異原性（変異原性）	知見なし
発がん性	知見なし
生殖毒性	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
特定標的臓器毒性（単回暴露）	ヒトで、吸入による気道腐食性、肺水腫が指摘されている。
特定標的臓器毒性（反復暴露）	ヒトで、尿路結石の増加が報告されている。
吸引性呼吸器有害性	知見なし

12. 環境影響情報

生態毒性	水生生物に有害。オオミジンコ 48 時間 EC50=15mg/L
残留性/分解性	知見なし
生体蓄積性	知見なし

1 3．廃棄上の注意

残余廃棄物

関連法並びに地方自治体の基準に従うこと。産業廃棄物として専門業者に処理を委託する場合は危険性、有害性を告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

1 4．輸送上の注意

国際規制

国連分類

腐食性物質

指針番号

154

国連番号

3261

品名（国連輸送品名）

その他の腐食性物質（有機物）（固体）（酸性のもの）

国連危険物分類

8

国連包装等級

III

海洋汚染物質

該当しない

国内規制

陸上輸送

毒物及び劇物取締法の規定に従う。

海上輸送

該当しない。

航空輸送

該当しない。

輸送の特定の安全対策
及び条件

輸送に際しては、高温多湿、火気、水分を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

1 5．適用法令

労働安全衛生法

法第 5 7 条 表示対象物質

法第 5 7 条の 2 通知対象物質

法第 5 7 条の 3 リスクアセスメント対象物質

毒物及び劇物取締法

劇物（法第 2 条別表第 2）

船舶安全法

腐食性物質（危規則第 2、3 条危険物告示別表第 1）

航空法

腐食性物質（施行規則第 1 9 4 条危険物告示別表第 1）

食品衛生法

食品添加物

1 6．その他の情報

文献

（独）製品評価技術基盤機構（NITE）GHS 分類公表 HP

記載内容の取り扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理的・化学的性質、危険・有害性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

注意事項は通常取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。